

contents

カタログ記号説明

O	OIL FILTER ELEMENT (汙紙式) PAPER-TYPE
C	OIL FILTER ELEMENT (綿糸缶入) CAN-TYPE
T	OIL FILTER ELEMENT (スロアーウェイ型) THROWA-WAY-TYPE
A	AIR CLEANER ELEMENT (汙紙式) PAPER-TYPE
AV	AIR CLEANER ELEMENT (ビスカス式) VISCOUS-TYPE
WA	AIR CLEANER ELEMENT (不織布) NON-WOVEN-TYPE
AC	AIR CLEANER ELEMENT (洗浄用汙紙) WASHING-PAPER-TYPE
S	AIR CLEANER ELEMENT (スチールウール) SUTHEL-WOOL
P	AIR CLEANER ELEMENT (ポリウレタン) POLY-UREATAN
A-0000C	AIR CLEANER ELEMENT (カラー付) CAP
AC-0000S	AIR CLEANER ELEMENT (サイクロン式) SHUTTLECOCK-TYPE
F	FUEL FILTER ELEMENT (汙紙式) PAPER-TYPE
FS	FUEL FILTER ELEMENT (コイルスプリング型) COIL-SPRING-TYPE
FT	FUEL FILTER ELEMENT (スロアーウェイ型) THROWA-WAY-TYPE

MICRO・NOの頭文字は、カーメーカーを表わします。

1 トヨタ	4 日産	7 三菱
2 日野	5 UD トラックス	8 マツダ
3 日産	6 いすゞ	9 ダイハツ

型式順索引	I-8
純正番号順適合表	I-30
尿素・PCV・AD・MT適合表	I-62

TOYOTA〔トヨタ〕	1~44
LEXUS〔レクサス〕	45~48
NISSAN〔ニッサン〕	49~69
UD TRUCKS〔UDトラックス〕	70~89
MITSUBISHI〔三菱〕	90~120
ISUZU〔いすゞ〕	121~147
HINO〔日野〕	148~178
MAZDA〔マツダ〕	179~196
DAIHATSU〔ダイハツ〕	197~206
SUBARU〔スバル〕	207~215
SUZUKI〔スズキ〕	216~223
HONDA〔ホンダ〕	224~236
寸法表	237~263
ゼオライト	264~282

レ
ク
サ
ス
ト
ヤ

ニ
ッ
サ
ン
U
D
ト
ラ
ッ
ク
ス

三

菱

い

す

ゞ

日

野

マ

ツ

ダ

ダ

イ

ハ

ツ

ス

バ

ル

ス

ズ

キ

ホ

ン

ダ

ゼ

オ

ラ

イ

ト

表

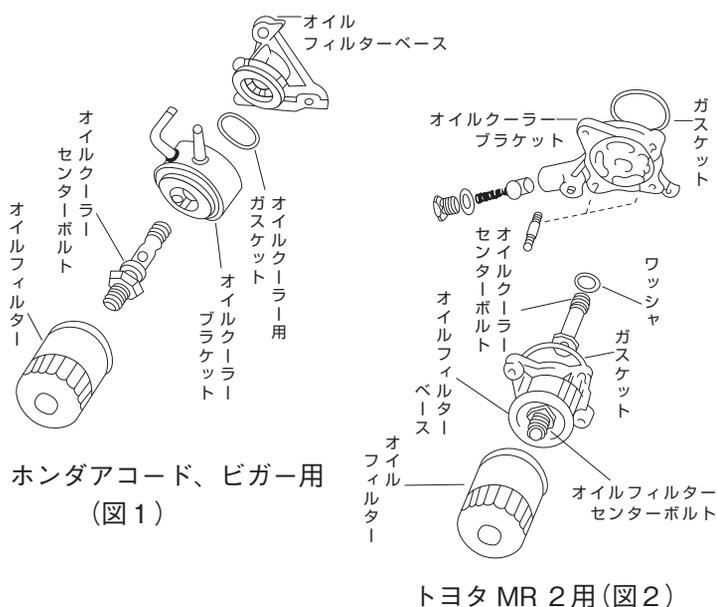
カートリッジタイプオイルフィルター誤着防止について

オイルフィルター交換の時に間違った品番を取付けるとエンジントラブルが発生します。最近のオイルフィルターは同じような外観、寸法が増えた為に間違っ取付けると走行中にオイルフィルターが外れたり、オイル洩れ等でエンジン焼付事故を起こします。下記の間違いや品番と相違点、トラブル例を参考にしてください。

間違いや品番	相違点、トラブル例
T6730 (いすゞ系) と T8210 (いすゞバイパス)	エンジンオイル (フルフロータイプとバイパスタイプ) 濾過能力の違い (エンジン焼付事故を起こします。)
T6730 (いすゞ系) と T8211 (マツダ系)	取付ねじ寸法 [T6730は20mmねじ] 走行中にはずれず。 [T8211は12UNFねじ]
T6738F (いすゞ系) と T57 (いすゞ、マツダ、ホンダ系)	取付ねじ寸法 [T6738Fは22mmねじ] 走行中にはずれず。 [T57は20mmねじ]
T3149 (ニッサンフルフロー) と T5122B (ニッサンバイパス)	エンジンオイル (フルフロータイプとバイパスタイプ) 濾過能力の違い (エンジン焼付事故を起こします。)
T3153 (ニッサン系) と T3154 (ニッサン系) と T3155 (ニッサン系)	取付ねじ寸法 [T3153は3/4インチねじ] 走行中にはずれず。 [T3154は20mmねじ] [T3155は20mmねじ]
T600 (スバル、三菱) と T501 (スズキ、ダイハツ)	取付ねじ寸法 [T600は20mmねじ] 走行中にはずれず。 [T501は3/4インチねじ]

注) オイルフィルターの大きさや車種名だけで判断して、交換作業を行いますとねじ径・パッキンの直径が違っていたりして大きなトラブルにつながる場合があります。交換取付作業の際には充分注意し、カタログ (品番適用表) で確認して作業を行ってください。

オイルクーラー付エンジンに対するオイルフィルター取付時の注意



左図のように、オイルフィルターベースにオイルクーラーブラケット (又はオイルクーラーブラケット、又はオイルクーラーブラケットにオイルフィルターベース) が付き、その上にオイルフィルターが付いているエンジンにオイルフィルターを取付ける際には、下記のことにご注意下さいませすようお願いいたします。

- 図1のように取付けられているオイルフィルターについては、オイルフィルターベースに対してオイルクーラーブラケットが緩んだ状態で取付いていないか。もしも緩んだ状態ようであれば、オイルクーラーブラケットを固定しているオイルクーラーセンターボルトを締め付け、オイルクーラーブラケットを固定してからオイルフィルターを取付けて下さい。
- 又、図2のように取付けられているオイルフィルターについては、オイルクーラーブラケット並びにオイルフィルターベースが緩んでいないかどうかを確認し、もしも緩んでいるようであればオイルクーラーセンターボルトおよびオイルフィルターセンターボルトを締め付けてからオイルフィルターを取付けて下さい。
- なお、オイルフィルターを取付ける時にはオイルフィルターを手で十分締めた後、市販の工具を使って1/6~1/8回転増し締めして下さい。これはオイルクーラーの付いている車は付いていない車に比較して、オイルフィルターの位置がエンジンブロックより遠ざかるため、エンジンから受ける振動による振れが大きくなり、オイルブラケット (又はオイルフィルターベース) もしくはオイルフィルターが緩んで油漏れを起こす危険がある為です。

締め付け不足による事故防止の為、工具使用締め付け品番例のお知らせ

乗用車等のカートリッジタイプオイルエレメントの取付けはレンチを使用せず手締めにて十分に締め付けるのが基本ですがディーゼル車 (乗用・トラック・バス) 等の車種においてはゴムパッキンが太くエレメント径が大きい為に手締めだけでは、不十分です。従って下記表の通り手で締めた後更に工具 (レンチ) を使用して必ず十分に増締めを実施して下さい。

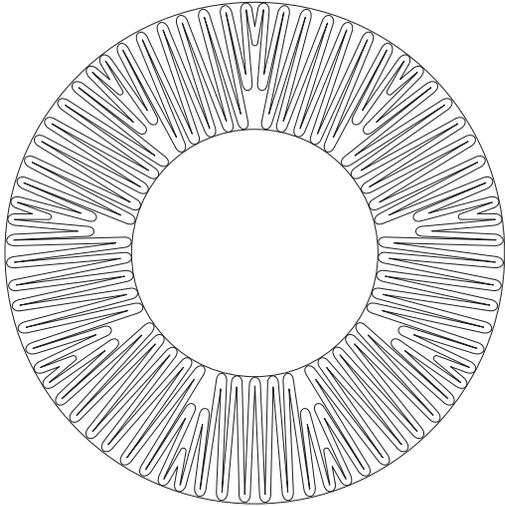
(締め付け方法は、エレメント本体に記載してあります。)

尚、手締めだけで締め付けが不十分になりオイルが滲み出たり吹き出す等のトラブルが発生する場合がありますので十分にご注意下さい。

記

T 5120	UDコンドル・バス	T 5123	フソー・バス
T 5121F	UDコンドル	T 2199	レンジャー・バス
T 5121B	UDコンドル	T 2200	レンジャー・バス
T 6730	キャンター・エルフ・ロデオ・ビッグホーン・ファスター・ジープ・ローザ	T 7316	カペラ・ボンゴ・ユーノスカーゴ・テルスター
T 6734	エルフ	T 8210	ボンゴ・スペクトロン・エルフ
T 6737	ビッグホーン・ファスター・エルフ・ジェミニ・ファーゴ・アスカ	T 8211	タイタン・ボクサー・バス
T 6739F	フォワード・バス	T 8215	ファミリア・スペクトロン・J80・J100
T 6745	フォワード・バス		
T 6770	エルフ		
T 7317	ミラージュ・ランサー・ギャラン・シャリオ		

カートリッジオイルフィルターに新技法



〔S & W〕

- ① S & W方式は当社が開発した特殊なプリーツです。
- ② S & W方式は濾過面積を拡大し、寿命を延長させます。
- ③ S & W方式は濾過精度が上がります。

NEW

アルミ冷間鍛造 FUEL FILTER

〔アルミボディーの特徴〕

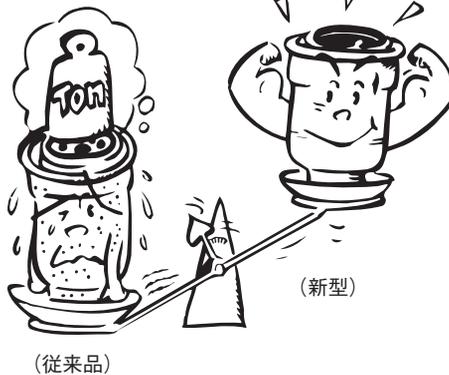
御存知の通り FUEL FILTERは燃料に含まれている水分及び異物を除去します。分離された水分が FUEL FILTERのボディー内部の「錆」発生の原因となります。最悪の場合、ボディーの亀裂と言うクレームに発展いたします。当社ではこれらの諸問題を解決すべくボディーをアルミ材(A6061)を使用、試行錯誤の末、この度 NEW FUEL FILTERを完成致しました。このボディーの特性として軽量化・再生付加価値をも満足させました。ユーザーの皆様にご自信を持ってご利用いたします。

1 水に強い!!

2 軽量化

(当社比較 25%~30%軽量)

3 再生付加価値があります。



カートリッジオイルフィルターVCケース採用

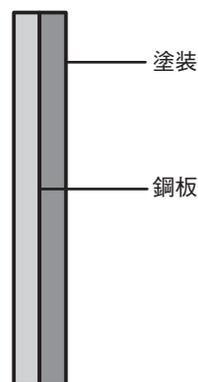
VCケースの特徴

- ゴミ・ブツ等の付着物が非常に少なくなる。
- 塗装厚さのバラツキが減少することによりキャップレンチの装着が向上します。
- 特殊皮膜により内面の防錆が向上します。
- 一括管理により安定した品質と納期が確保できるようになります。

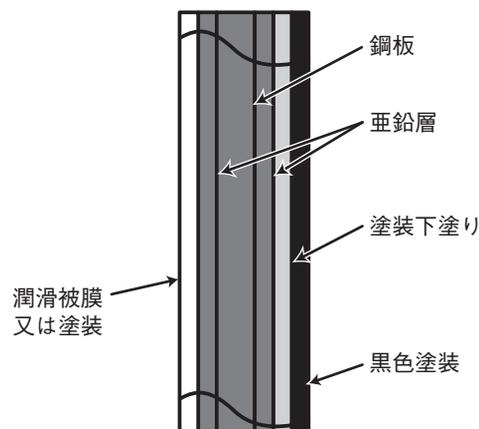
従来のオイル用ケースとの比較

	レンチ装着性	外側防錆	内側防錆	品質安定
従来のケース(メッキ)	◎	○	○	○
従来のケース(塗装)	○	◎	△	○
VCケース(カラー鋼板)	◎	◎	◎	◎

◎ 優れている ○ 良好 △ やや劣る

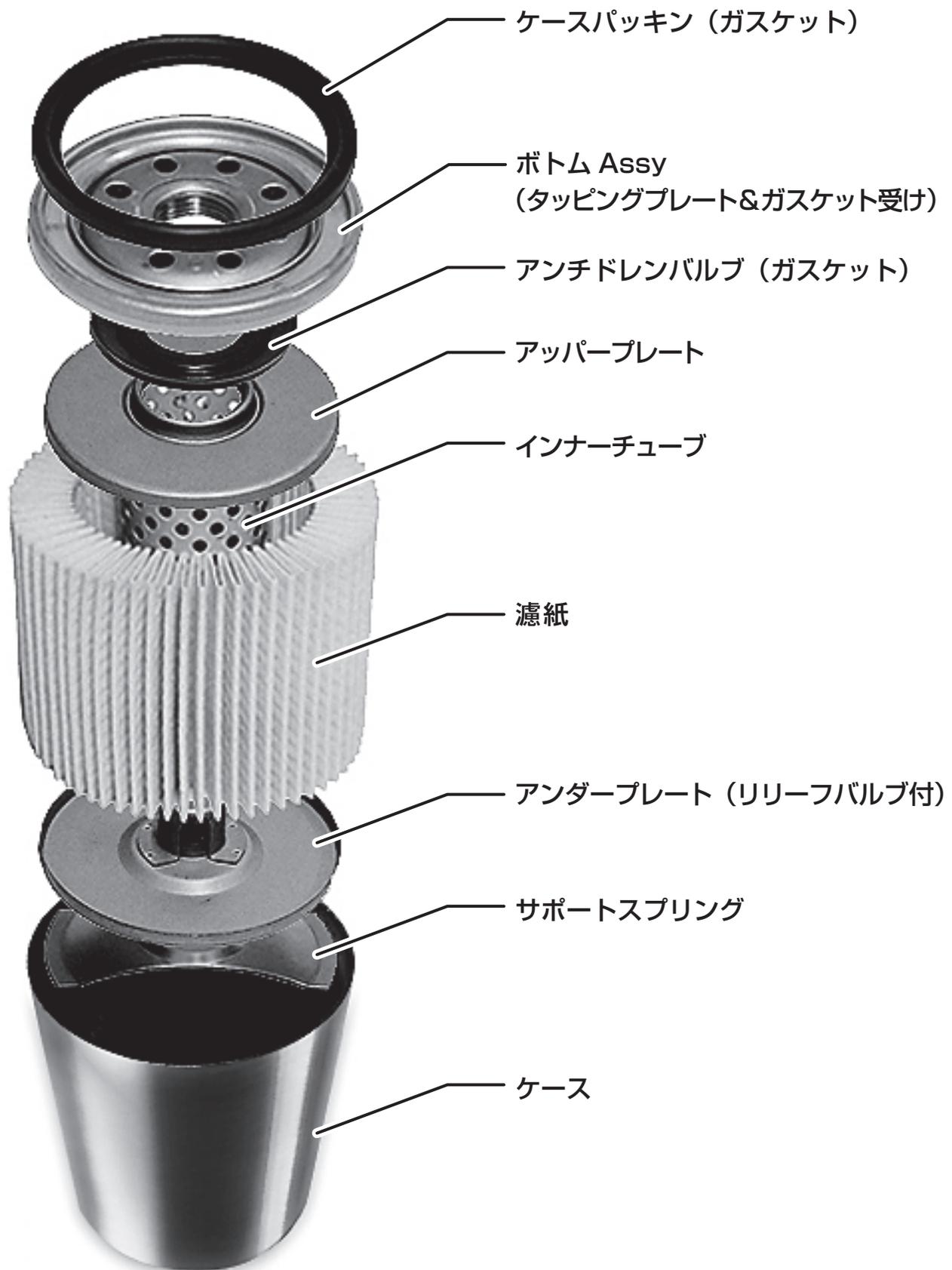


従来品



VCケース側面断面図

カートリッジ式オイルフィルタ展開写真



● フィルタ交換時の注意事項 ●

フィルタ交換時の注意事項は、フィルタのパッケージ及びフィルタ本体に以下の通り表示しております。確認してから作業して下さい。特に、○○○○回転の部分は製品によって異なりますので、フィルタ本体の表示に従って作業して下さい。

スピノン型オイルフィルタのパッケージ表示



注意

- エンジンが冷めてから作業してください。やけどをする恐れがあります。
- フィルタ部からのオイル洩れのないことを確認してください。オイル洩れはエンジンの焼付の原因となる恐れがあります。

交 換 手 順

フィルターを安全に正しく交換していただくために、下記事項を守って下さい。

1. 交換するフィルタが車（車種、型式、品番等）に合っていることを確認して下さい。
 2. エンジン側シール面の汚れ・異物を拭き取ってください。
 3. 新しいフィルタのガスケットが溝に正しくはめ込まれていることを確認してから、ガスケットの全周にエンジンオイルを塗ってください。
 4. フィルタは右回しで取付け、エンジン側シール面にガスケットが接触してから、フィルタ用取付工具で○○○○回転締付けてください。
 5. 取付け後オイルを注入し、3分間以上エンジンを運転してから、シール部のオイル洩れがないこと及びオイル量を確認してください。
- オイル量及び交換時期については、「整備手帳」に従ってください。

リプレースタイプオイルフィルタのパッケージ表示



注意

- エンジンが冷めてから作業してください。やけどをする恐れがあります。
- フィルタ部からのオイル洩れのないことを確認してください。オイル洩れはエンジンの焼付の原因となる恐れがあります。

交 換 手 順

フィルターを安全に正しく交換していただくために、下記事項を守って下さい。

1. 交換するエレメントキットが車（車種、型式、年式等）に合っていることを確認して下さい。
 2. ケース、ボルト等の部品は洗浄し、ブラケットの汚れ・異物を拭き取ってください。
 3. ガスケット類はエレメントキットに入っている新しいものを使用してください。
 4. エレメント及び部品の組付け・取付けは車の「取扱説明書」に従ってください。
なお、ガスケット類はエンジンオイルを塗付し、ずれ・ねじれのないようにしてください。
 5. 取付け後オイルを注入し、3分間以上エンジンを運転してから、フィルタ部からのオイル洩れがないこと及びオイル量を確認してください。
- オイル量及び交換時期については、「整備手帳」に従ってください。

スピノン型オイルフィルタの本体表示



交 換 時 の 注 意

1. ガスケットの全周にエンジンオイルを塗る。
 2. シール面にガスケットが接触後、取付工具で○○○○回転締付ける。
 3. 取付け後エンジンを運転し、オイル洩れのないことを確認する。
- その他の事項はパッケージ参照。

スピノン型フューエルフィルタ (ディーゼル車用) のパッケージ表示



注意

- 取付け後、エンジンの試運転を行い、フィルタ部からの燃料洩れがないことを確認してください。燃料洩れは車の火災の原因となる恐れがあります。

交換手順

フィルターを安全に正しく交換していただくために、下記事項を守って下さい。

1. 交換するフィルタが車（車種、型式、年式等）に合っていることを確認して下さい。
2. 作業はエンジンを停止してから行ってください。
3. フィルタブラケット側シール面の汚れ・異物を拭き取ってください。
4. 新しいフィルタのガスケットが溝に正しくはめ込まれていることを確認してから、ガスケットの全周に燃料油を塗ってください。
5. ガスケットがシール面に接触後、フィルターレンチにて〇〇〇〇回転締付けて下さい。取り付け時にベルト式・チェーン式レンチの使用は控えて下さい。（亀裂に発展する恐れがある為）
6. センサ脱着やエア抜きは車の「取扱説明書」に従ってください。
7. 取付け後、エンジンの試運転を行い、フィルタ部からの燃料洩れがないことを確認してください。
 - 交換時はフィルタやパイプ内の燃料がエンジンにかからないように容器、ウエス等で受けてください。
 - 交換時期については「整備手帳」に従ってください。

スピノン型フューエルフィルタの本体表示



交換時の注意 軽油用

1. ガスケットの全周に燃料油を塗って下さい。
2. ガスケットがシール面に接触後、フィルターレンチにて〇〇〇〇回転締付けて下さい。取り付け時にベルト式・チェーン式レンチの使用は控えて下さい。（亀裂に発展する恐れがある為）
3. エア抜き後エンジンを試運転し、燃料洩れのないことを確認して下さい。
 - その他の注意事項はパッケージ参照。

リプレースタイプフューエルフィルタの パッケージ表示



注意

- 取付け後、エンジンの試運転を行い、フィルタ部からの燃料洩れがないことを確認してください。燃料洩れは車の火災の原因となる恐れがあります。

交換手順

フィルターを安全に正しく交換していただくために、下記事項を守って下さい。

1. 交換するエレメントキットが車（車種、型式、年式等）に合っていることを確認して下さい。
2. 作業はエンジンを停止してから行ってください。
3. ケース、ボルト等の部品は洗浄し、ブラケットの汚れ・異物を拭き取ってください。
4. ガスケット類はエレメントキットに入っている新しいものを使用してください。
5. エレメント及び部品の組付け・取付けは車の「取扱説明書」に従ってください。なお、ガスケット類は燃料油を塗付し、ずれ・ねじれのないようにしてください。
6. 取付け後エンジンの試運転を行い、フィルタ部からの燃料洩れがないことを確認してください。
 - 交換時はフィルタやパイプ内の燃料がエンジンにかからないように容器、ウエス等で受けてください。
 - 交換時期については「整備手帳」に従ってください。

ガソリン車用フューエルフィルタのパッケージ表示



注意

- 取付け後、エンジンの試運転を行い、フィルタ部からの燃料洩れがないことを確認してください。燃料洩れは車の火災の原因となる恐れがあります。

交換手順

フィルターを安全に正しく交換していただくために、下記事項を守って下さい。

- 交換するフィルタが車（車種、型式、年式等）に合っていることを確認して下さい。
- 作業はエンジンを停止してから行ってください。
- フィルタの脱着・交換は車の「取扱説明書」に従ってください。
- 取付け金具は車に取付いているものを使用してください。
- 取付け後、エンジンの試運転を行い、フィルタ部からの燃料洩れがないことを確認してください。
- 交換時はフィルタやパイプ内の燃料がエンジンにかからないように容器、ウエス等で受けてください。
- 交換時期については「整備手帳」に従ってください。